

病害虫情報 11 月の予報

情報提供:神奈川県農業技術センター病害虫防除部

令和元年11月1日

神奈川県農業共済組合

病害虫情報(第8号)11月予報

令和元年11月1日神奈川県農業技術センター

病害虫防除部 TEL 0463 - 58 - 0333 インターネット http://www.pref.kanagawa.jp/docs/cf7/cnt/f450002/

【内容】

- 農薬使用の際は、必ずラベルの記載事項を確認し、使用基準を遵守するとともに飛散防止に努めましょう。
- 掲載農薬は一般的な場合を想定し、防除効果を優先して選定しています。
- ※ 農薬に関する情報は、令和元年10月23日までの農薬登録情報に基づいて記載しています。
- I 11月の主な病害虫の発生予想、防除要否、使用する薬剤例

【水稲】

病 害 虫 名	発生 予想 (平年比)	防除 要否	使 用 す る 薬 剤 例 ◇防除のポイント	
縞葉枯病	_	_	❖ 媒介虫であるヒメトビウンカの越冬場所を減らす目的で次の対策 を実施する。①「ひこばえ」や水田内雑草をすき込む。②冬期~春期の畦畔や休耕田の除草を徹底する。	
スクミリンゴガイ	_	_	 スクミリンゴガイの生存率を下げる目的で次の対策を実施する。 ①秋冬期に田を複数回耕起すると殺貝効果が高い。貝を破砕するため、耕うんは走行速度を遅くし、回転数を多くする。浅く細かく耕す。 ②用排水路で生存している貝の対策として泥上げを行う。地区全体で実施すると効果が高い。 ③休耕田も発生源になるので、できるだけ①の対策を実施する。 	

【 カンキツ 】 生育:やや遅(足柄地区事務所:普通温州)

病害虫名	発生 予想 (平年比)	防除 要否	使 用 す る 薬 剤 例 ❖防除のポイント
貯蔵病害 青かび病 緑かび病 軸腐病 炭疽病	やや多	0	(予・治) ベフトップジンフロアブル みかん: [7日,3回] 1,500倍 みかんを除くかんきつ: [前日,2回] 1,500倍 ベフトップジンは混合剤。総使用回数に注意する。 (予・治)トップジンM水和剤[前日,5回] 青かび病、緑かび病、軸腐病: 2,000~3,000倍 収穫時に傷を付けないようにし、傷果は貯蔵庫に持込まない。
ミカンハダニ	並	0	オマイト水和剤 みかん:[7日,2回] 750倍 みかんを除くかんきつ:[14日,2回] 750倍 * 収穫果を長期貯蔵する場合は防除する。

[防除要否] ◎: 追加防除が必要 ○: 通常防除 △: 必要に応じて防除 ×: 防除の必要なし [使用時期] 「収穫*日前まで」を「*日」に、「収穫前日まで」を「前日」に省略

【抑制トマト】

病害虫名	発生 予想 (平年比)	防除 要否	使 用 す る 薬 剤 例 ◆防除のポイント
葉かび病	_	0	(予) インプレッションクリア [発病前~発病初期,-] うどんこ病:1,000~2,000倍
うどんこ病	-	0	葉かび病:1,000倍 (予・治) ベルクートフロアブル [前日,3回] 2,000~4,000倍 (予・治) ポリオキシンAL水和剤 [前日,3回] 葉かび病:1,000倍 (治) サンクリスタル乳剤 [前日,一]うどんこ病:300~600倍 等
			❖ 葉かび病の抵抗性品種を使用している場合でも、その抵抗性を 無効化させないために、ほ場内の菌密度上昇を防ぐ薬剤防除は 必要。
コナジラミ類 タバココナジラミ	並	0	アニキ乳剤 [前日,3回] コナジラミ類、ミカンキイロアザミウマ:1,000~2,000倍
アザミウマ類	_	0	アルバリン 又は スタークル顆粒水溶剤 [前日,2回] コナジラミ類:2,000~3,000倍 モスピラン顆粒水溶剤 [前日,3回] 2,000倍 サンクリスタル乳剤 [前日,一] コナジラミ類:300倍 等
			❖ ウイルス病の感染を防ぐためにも害虫の防除が重要。
			発生するウイルス病 媒介する害虫
			CMV等(モザイク病) アブラムシ類 TYLCV(トマト黄化葉巻病) コナジラミ類 ToCV(トマト黄化病) コナジラミ類
			TSWV(トマト黄化えそ病) CSNV(トマト茎えそ病)
			◇ 施設内外の雑草は、害虫の発生・増殖源になるため、除草を徹底する。◇ 栽培終了時は施設内に害虫を残さず、また施設外に出さない。◇ 残渣は適切に処分し、次作のために野良生えトマトを発生させない。

[防除要否] ◎: 追加防除が必要 ○: 通常防除 △: 必要に応じて防除 ×: 防除の必要なし [使用時期] 「収穫*日前まで」を「*日」に、「収穫前日まで」を「前日」に省略

★薬剤耐性菌の発生を防ぐため、1作での使用回数を制限することが望ましい薬剤については、巻末の 別表を参照してください。

【促成トマト】

病害虫名	発生 予想	防除	使用する薬剤例
	(平年比)	要否	❖ 防除のポイント
コナジラミ類 タバココナジラミ	並	0	【育苗期:粒剤施用】 アルバリン 又は スタークル粒剤 [育苗期,1回:株元散布]
アブラムシ類	_	0	コナジラミ類、ハモグリバエ類:1~2g/株 【育苗期:散布】
アザミウマ類	_	0	ベストガード水溶剤 [前日,3回] コナジラミ類、アブラムシ類、アザミウマ類:1,000~2,000倍
ハモグリバエ類	_	0	コルト顆粒水和剤 [前日,3回] コナジラミ類、アブラムシ類:4,000倍
			【育苗期後半〜定植時:粒剤施用又は灌注】 プリロッソ粒剤 [育苗期後半〜定植時,1回:株元散布] 2g/株 又は、ベリマークSC [育苗期後半〜定植当日,1回:灌注] 原液25mlを10〜20Lに希釈/400株 【定植時:粒剤施用】 モスピラン粒剤 [定植時,1回:植穴土壌混和] コナジラミ類、アブラムシ類、トマトハモグリバエ:1g/株 ダントツ粒剤 [定植時,1回:植穴処理土壌混和] コナジラミ類、アブラムシ類、ハモグリバエ類:1〜2g/株 等
			❖ ウイルス病の感染を防ぐためにも害虫の防除が重要。
			発生するウイルス病 媒介する害虫
			CMV等(モザイク病) アブラムシ類 TYLCV(トマト黄化葉巻病) コナジラミ類 ToCV(トマト黄化病)
			TSWV(トマト黄化えそ病) アザミウマ類 CSNV(トマト茎えそ病)
			 ◇ 施設開口部(出入口、天窓等)には、目合い0.4mm以下の防虫ネットを展張し、害虫の侵入防止に努める。なお、赤色防虫ネット(クロスレッド)はより高い防虫効果が期待できる。 ◇ 施設内外の雑草は、害虫の発生・増殖源になるため、除草を徹底する。 ◇ 黄色・青色粘着板を設置し、害虫の発生消長を把握する。 ◇ ウイルス病発病株は抜き取り、施設外に持ち出し、土中に埋めるなど適切に処分する。

[防除要否] ◎: 追加防除が必要 ○: 通常防除 △: 必要に応じて防除 ×: 防除の必要なし [使用時期] 「収穫*日前まで」を「*日」に、「収穫前日まで」を「前日」に省略

★薬剤耐性菌の発生を防ぐため、1作での使用回数を制限することが望ましい薬剤については、巻末の 別表を参照してください。

【抑制キュウリ】

	発生	7十7人	は田子で遊刈り
病 害 虫 名	予想	防除 要否	使用する薬剤例
	(平年比)	安省	❖ 防除のポイント
べと病	やや少	0	(予・治) ホライズンドライフロアブル [前日,3回] 2,500倍
~ C1M	1,119		☞ ホライズンは混合剤。総使用回数に注意する。
			(予・治) エトフィンフロアブル [前日,4回] 1,000倍
			(予・治) ランマンフロアブル [前日,4回] 1,000~2,000倍
			(予・治) ハチハチ乳剤 [前日,2回] 1,000倍
			❖ 草勢低下と夜間の結露等による葉の濡れが発生を助長する。
うどんこ病	並	0	(予) インプレッションクリア [発病前~発病初期,一] 1,000~2,000倍
72 N - 1/19	<u>лг</u>		(予・治) ベルクートフロアブル [前日,7回] 2,000倍
			(予・治) ハチハチ乳剤 [前日,2回] 1,000倍
			(予・治) パンチョTF顆粒水和剤 [前日,2回] 2,000倍
			☞ パンチョは混合剤。総使用回数に注意する。
			❖ 乾燥で発生が助長されるので、日中の過乾燥に注意する。
褐斑病	やや少	\circ	(予) ジマンダイセン水和剤又はペンコゼブ水和剤
上自分正/k1	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		[前日,3回]600倍
			(予・治) ベルクートフロアブル [前日,7回] 2,000倍
			(予・治) スミブレンド水和剤 [前日,5回] 1,500~2,000倍
			☞ スミブレンドは混合剤。総使用回数に注意する。
			◆ 多湿状態で施設を密閉すると蔓延しやすく、夜間の結露等による葉の濡れが発生を助長する。
コナジラミ類	4 4 5		アルバリン 又は スタークル顆粒水溶剤 「前日,2回〕
タバココナジラミ	やや多	0	コナジラミ類:2,000~3,000倍、アザミウマ類:2,000倍
アザミウマ類			アファームエクセラ顆粒水和剤「前日,2回〕
ミナミキイロ			ミナミキイロアザミウマ:1,500倍
アザミウマ	並	\circ	☞ アファームエクセラは混合剤。総使用回数に注意する。
			ハチハチ乳剤 [前日,2回] 1,000~2,000倍
			ウララDF [前日,3回] コナジラミ類:2,000倍
			❖ ウイルス病の感染を防ぐためにも害虫の防除が重要。
			発生するウイルス病 媒介する害虫
			CMV等(モザイク病) アブラムシ類
			CCV/(注段
			BPYV(キュウリ黄化病) コナジラミ類
			MVSV WSMoV
			(キュウリ黄化えそ病) アザミウマ類
			◆ 施設内外の除草を徹底するとともに、栽培に関係のない鉢物等
	571.74		を施設内に持ち込まない。

[防除要否] ◎: 追加防除が必要 ○: 通常防除 △: 必要に応じて防除 ×: 防除の必要なし [使用時期] 「収穫*日前まで」を「*日」に、「収穫前日まで」を「前日」に省略

★薬剤耐性菌の発生を防ぐため、1作での使用回数を制限することが望ましい薬剤については、巻末の 別表を参照してください。

【促成イチゴ】

病 害 虫 名	発生 予想 (平年比)	防除 要否	使 用 す る 薬 剤 例 ◇防除のポイント	
	(半平比)		17212	ب
うどんこ病	並	\circ	(予) インプレッションクリア [発病前~発病初期,一] 1,000~2,000倍	台
			(予) タフパール [発病前~発病初期,-] 2,000~4,000倍	
			(予)フルピカフロアブル [前日,3回] 2,000~3,000倍	
			(治) サンクリスタル乳剤 [前日,-] 300~600倍	
			(治) カリグリーン [前日,-] 800~1000倍	
			(予・治) パレード20フロアブル [前日,3回] 2,000~4,000倍	等
アブラムシ類	並		ウララDF [前日,2回] 2,000~4,000倍	
ノノノムン類	<u>MV.</u>		サンクリスタル乳剤 [前日,一] 300倍	等
ハスモンヨトウ	やや多		プレバソンフロアブル5 [前日,2回] 2,000倍	
ハスセンョトリ	ヤヤ多	\cup	トルネードエースDF [前日,2回] 2,000倍	
				等
, ガー籽	並		マイトコーネフロアブル [前日,2回] 1,000倍	
ハダニ類	亚区		サンクリスタル乳剤 [前日,一] 300~600倍	等

[防除要否] ◎: 追加防除が必要 ○: 通常防除 △: 必要に応じて防除 ×: 防除の必要なし [使用時期] 「収穫*日前まで」を「*日」に、「収穫前日まで」を「前日」に省略

ミツバチへの影響

▶ 農薬散布の際は、巣箱を施設から出し、巣箱を再導入する前には、換気を十分に行い、薬液が乾いていることを確認すること。

タフパールと上記掲載剤の散布間隔(メーカー技術資料より抜粋)

▶ サンクリスタル、ウララ、トルネードフロアブル、カスケード、マイトコーネ:混用事例ありフルピカ、カリグリーン:3日以上

★薬剤耐性菌の発生を防ぐため、1作での使用回数を制限することが望ましい薬剤については、巻末の 別表を参照してください。

【ネギ】

病害虫名	発生 予想 (平年比)	防除 要否	使 用 す る 薬 剤 例 ❖防除のポイント
さび病	やや少	0	(予・治) アミスター20フロアブル [3日,4回] 2,000倍 (予・治) ラリー水和剤 [7日,3回] さび病:2,000倍
黒斑病	並	0	等 ※ 薬液をはじきやすいため、水溶剤や水和剤には展着剤を加用し、薬液が十分付着するように散布する。
ネギアザミウマ	並	0	アニキ乳剤 [3日,3回] ネギアザミウマ:1,000倍、
シロイチモジョトウ	やや多	0	シロイチモジョトウ:1,000~2,000倍 ベストガード水溶剤 [前日,3回] ネギアザミウマ:1,000~2,000倍 ディアナSC [前日,2回] 2,500~5,000倍 等 ❖ 薬液をはじきやすいため、水溶剤や水和剤には展着剤を加用 し、薬液が十分付着するように散布する。

[防除要否] ◎: 追加防除が必要 ○: 通常防除 △: 必要に応じて防除 ×: 防除の必要なし [使用時期] 「収穫*日前まで」を「*日」に、「収穫前日まで」を「前日」に省略

【キャベツ:三浦半島地区以外】

病 害 虫 名	発生 予想	防除 要否	使 用 す る 薬 剤 例 ◆防除のポイント	
黒腐病	(平年比) やや多	0	(予) Zボルドー [一,一] 500倍 (予) ヨネポン水和剤 [7日,5回] 500倍 (予・治) カセット水和剤 [7日,3回] 1,000倍	
			 ⇒ カセットは混合剤。総使用回数に注意する。 ❖ 強い降雨の後には、予防散布を行う。 ❖ Zボルドーで薬害が懸念される場合は、クレフノン(100~200倍)を加用する。但し、汚れが生じるため収穫間際の使用は控える。 	等
菌核病	_	0	(予) セイビアーフロアブル20 [3日,3回] 1,000倍 (予・治) トップジンM水和剤 [3日,2回] 1,000~1,500倍 (予・治) カンタスドライフロアブル [7日,2回] 1,500倍 ◆ 被害株は感染源になるため、速やかに除去する。	等
コナガ	やや多	0	アニキ乳剤 [3日,3回] 1,000~2,000倍 アクセルフロアブル [前日,3回]	
ハスモンヨトウ	やや多	0	コナガ:1,000倍 ハスモンヨトウ、オオタバコガ:1,000~2,000倍	等
オオタバコガ	少	Δ	ディアナSC [前日,2回] 2,500~5,000倍	

[防除要否] ◎: 追加防除が必要 ○: 通常防除 △: 必要に応じて防除 ×: 防除の必要なし [使用時期] 「収穫*日前まで」を「*日」に、「収穫前日まで」を「前日」に省略

▼三浦半島地区野菜▼

【キャベツ】

病害虫名	発生 予想 (平年比)	防除 要否	使 用 す る 薬 剤 例 ◇防除のポイント	
黒腐病	多	0	(予) Zボルドー [一,一] 500倍 (予) ヨネポン水和剤 [7日,5回] 500倍 (予・治) カセット水和剤 [7日,3回] 1,000倍 ☞ カセットは混合剤。総使用回数に注意する。 ❖ 強い降雨の後には、予防散布を行う。 ❖ Zボルドーで薬害が懸念される場合は、クレフノン(100~200倍) を加用する。但し、汚れが生じるため収穫間際の使用は控える。	等
菌核病	_	0	(予) セイビアーフロアブル20 [3日,3回] 1,000倍 (予・治)トップジンM水和剤 [3日,2回] 1,000~1,500倍 ◆ 被害株は感染源になるため、速やかに除去する。	等
コナガ	多	0	アニキ乳剤 [3日,3回] 1,000~2,000倍 アクセルフロアブル [前日,3回]	
ハスモンヨトウ	やや多	0	コナガ:1,000倍 ハスモンヨトウ、オオタバコガ:1,000~2,000倍	
オオタバコガ	少	Δ	ディアナSC [前日,2回] 2,500~5,000倍	等

[防除要否] ◎: 追加防除が必要 ○: 通常防除 △: 必要に応じて防除 ×: 防除の必要なし [使用時期] 「収穫*日前まで」を「*日」に、「収穫前日まで」を「前日」に省略

【ダイコン】

病 害 虫 名	発生 予想 (平年比)	防除 要否	使 用 す る 薬 剤 例 ◇防除のポイント
黒斑細菌病	やや多	0	(予) Zボルドー [−,−] 500倍 (予・治) カセット水和剤 [14日,3回] 1,000倍 ☞ カセットは混合剤。総使用回数に注意する。 (予・治) カッパーシン水和剤又はカスミンボルドー [14日,3回] 1,000倍 ☞ カッパーシン、カスミンボルドーは混合剤。総使用回数に 注意する。 ❤ 肥料切れしないよう適正な肥培管理をする。 ❤ Zボルドーで薬害が懸念される場合は、クレフノン(100~200倍) を加用する。
白さび病 (ワッカ症)	並	0	(予)ョネポン水和剤[7日,4回]白さび病:500倍 (予・治)ランマンフロアブル[3日,3回]2,000倍 ◇ ワッカ症の防除のために11月上旬に薬剤散布を行う 。
アブラムシ類	多	0	アルバリン 又は スタークル顆粒水溶剤 [7日,2回]2,000~3,000倍 ウララDF[前日,2回]2,000倍 等
コナガ	多	0	ディアナSC[前日,2回]2,500~5,000倍 アファーム乳剤[7日,3回]コナガ:1,000~2,000倍
ハモグリバエ類 ナモグリバエ	やや少	0	等

[防除要否] ◎: 追加防除が必要 ○: 通常防除 △: 必要に応じて防除 ×: 防除の必要なし [使用時期] 「収穫*日前まで」を「*日」に、「収穫前日まで」を「前日」に省略

病害虫情報 (令和元年・第8号・11月) ・・・・ 神奈川県農業技術センター

- Ⅱ 11月の気象予報と病害虫発生予報の根拠
 - (1) 11月の気象予報(気象庁 地球環境・海洋部10月25日発表3か月予報)

〈天 気〉

平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

〈要素別予報〉

	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
気 温	20%	40%	40%
降 水 量	30%	30%	40%
日照時間*	40%	40%	20%

^{*10}月24日発表1か月予報による。

(2) 11月の病害虫発生予報の根拠

作物名	病害虫名		主量	予報の根拠
,,,.		程度	平年比	V 17. 17. V 2
カンキツ	貯蔵病害 青かび病	_	やや多	1) 県予察ほ(根府川)では、果実の青かび病、緑かび 病等の樹上発病は平年並。(±)
	緑かび病			2) 本年の着果量は平年並、果皮の厚さはやや厚、減
	炭疽病			2) 本中の有未重は十十並、未及の字さはやで字、版 酸は平年より遅い。(土)
	軸腐病			3) 軸腐病と同じ病原菌である黒点病の発生は、巡回
	TH//Q/T3			調査、県予察ほ(根府川)では平年よりやや少ない。
				(-)
				4) 台風による強風で果実表面に傷が付いている。 (+)
				5) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(+)
	ミカンハダニ	少	並	1) 巡回調査では、発生が平年並。(±)
				2) 県予察ほ(根府川)では、発生が平年よりやや少な
				い。(一)
				3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(±)
抑制トマト	タバココナジラミ	少	並	1) 抑制トマトの巡回調査では、発生が平年よりやや少
促成トマト				<i>ない。</i> (一)
				2) 抑制キュウリの巡回調査では、発生が平年よりやや 多い。(+)
				3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(+)
抑制キュウリ	べと病	少	やや少	1) 巡回調査では、発生が平年より少ない。(-)
				2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(+)
	うどんこ病	中	並	1) 巡回調査では、発生が平年並。(±)
				2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(±)
	褐斑病	少	やや少	1) 巡回調査では、発病は見られず、発生が平年より少
	[程]以I1内	9		ない。(-)
				2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(+)
	タバココナジラミ	少	やや多	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
				2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(+)
	ミナミキイロアザミウマ	少	並	1) 巡回調査では、発生が平年よりやや少ない。(一)
				2) 青色粘着板調査では、捕獲虫数が大磯町では過去 5年平均より少なく(一)、平塚市では平年並(±)。
				3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(+)

※「発生量」・・・・・・・・・・・程度: 甚>多>中>少>無 平年比: 多>やや多>並>やや少>少 「予報の根拠」・・・・・・・(+): 多発要因 (-): 少発要因

病害虫情報

(令和元年•第8号•11月)

神奈川県農業技術センター

程度 平年比	是。(±) (一) は、平年よ 是。(+) 平年より少 是。(+)
プラスい。(一) 2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報 少 並 1) 巡回調査では、発生が平年より少ない。(2) 県予察ほ(平塚)の黄色水盤への飛来量りやや多い。(+) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報 か	(一) は、平年よ 。(+) 平年より少 。(+)
アブラムシ類 並 1) 巡回調査では、発生が平年より少ない。(2) 県予察ほ(平塚)の黄色水盤への飛来量りやや多い。(+) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報 ハダニ類 並 1) 巡回調査では、寄生は見られず、発生がない。(-) 2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報 シージの表別は平年並か高く、降水量は多い予報 東政病 が 1) 巡回調査では、発病は見られず、発生がや少ない。(-) 2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報 カージの関連者では、発生が平年より少ない。(-) 1) 巡回調査では、発生が平年より少ない。(-) 2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報	(一) は、平年よ 。(+) 平年より少 。(+)
2) 県予察は(平塚)の黄色水盤への飛来量りやや多い。(+) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報 ハダニ類 少 並 1) 巡回調査では、寄生は見られず、発生がない。(-) 2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報 ネギ さび病 少 やや少 1) 巡回調査では、発病は見られず、発生がや少ない。(-) 2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報 黒斑病 少 並 1) 巡回調査では、発生が平年より少ない。(-)	及。(+) 平年より少 及。(+) 平年よりや
ハダニ類 少 並 1) 巡回調査では、寄生は見られず、発生がない。(-) 2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報 ネギ さび病 少 やや少 1) 巡回調査では、発病は見られず、発生がや少ない。(-) 2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報 黒斑病 少 並 1) 巡回調査では、発生が平年より少ない。(-)	平年より少
ない。(-) 2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報 ネギ さび病 少 やや少 1) 巡回調査では、発病は見られず、発生が や少ない。(-) 2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報 黒斑病 少 並 1) 巡回調査では、発生が平年より少ない。(及。(+) 平年よりや
ネギ さび病 少 やや少 1) 巡回調査では、発病は見られず、発生がや少ない。(一) 2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報 黒斑病 少 並 1) 巡回調査では、発生が平年より少ない。(平年よりや
や少ない。(-) 2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報 黒斑病	, ,
黒斑病 少 並 1)巡回調査では、発生が平年より少ない。(₹ ₀ (+)
	- ' '
2)10月12日に強風、強雨を伴う台風19号が	` '
(+)	22.0.0
3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報	$\frac{1}{2}$ $(+)$
ネギアザミウマ 中 並 1) 巡回調査では、発生が平年並。(土)	7 ()
2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報シロイチモジョトウ - やや多 1) フェロモントラップへの誘殺数は、三浦は	
プロイケモショドグ ー やや多 I) フェロモンドノッノ への誘殺数は、三個は一 や多く(+)、横浜と伊勢原は平年より多い	
2) 県予察ほ(上吉沢)のフェロモントラップへ は、平年よりやや多い。(+)	の誘殺数
3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報	$_{\mathrm{z}_{\circ}}^{\mathrm{1}}\left(\pm ight)$
キャベツ黒腐病少やや多1) 巡回調査では、発病は見られず、発生がや少ない。(一)	平年よりや
区を除く) 2) 10月12日に強風、強雨を伴う台風19号が (+)	通過した。
3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報	
コナガ 少 やや多 1) 巡回調査では、発生が平年よりやや多い 2) フェロモントラップへの誘殺数は、横浜は	. ,
(1) (1) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (6) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	
3) 県予察ほ(上吉沢)のフェロモントラップへ は、平年よりやや少ない。(-)	の誘殺数
4) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報	
露地野菜 ハスモンヨトウ - やや多 1)ダイコンの巡回調査では、発生が平年並全般 2)フェロモントラップへの誘殺数は、横浜、(に平年より多い。(+)	. ,
区を除く) 3) 県予察は(上吉沢)のフェロモントラップへは、平年並。(±)	の誘殺数
4) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報	
オオタバコガ	平年よりや
や少なく(一)、伊勢原は平年より少ない(- 3) 県予察は(上吉沢)のフェロモントラップへ	
は、平年よりやや少ない。(-) 4) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報	

病害虫情報

(令和元年・第8号・11月) 神奈川県農業技術センター

三浦半島地区野菜

### (本度 学年式	<i>ໄ</i> 左 H _m 夕	完宝 由夕	発生	生量	子却 の 担 加
2) 10月12日に強風、強雨を伴う台風19号が通過した。	作物名	病害虫名	程度		予報の根拠
(+) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(+) 1) ※回調査では、発生が平年よりやや多い、(+) 2) フェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より多い。(+) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数とは、平年並。(土) 4) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 4) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 2) 10月12日に強風、強雨を伴う台風19号が通過した。(+) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(+) 1) ※回調査では、発療は見られず、発生が平年並。(土) 2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 1) ※回調査では、発生が平年並。(土) 2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 1) ※回調査では、発生が平年並。(土) 2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 1) ※回調査では、発生が平年より多い。(+) 2) フェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より多い。(+) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年並。(土) 4) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 1) ジロ調査では、発生が平年よりやや多い。(+) 2) フェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より多い。(+) 3) 県予察は(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年並。(土) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 1) キャベツの巡回調査では、落生は見られず、発生が平年よりや少ない。(ー) 2) フェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年よりかない。(ー) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや少ない。(ー) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや少ない。(ー) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや少ない。(ー) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや少ない。(ー)	キャベツ	黒腐病	少	多	, , _ , , , , , , , , , , , , , , , , ,
3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(+) 2) プロース・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア					
3 ※回調査では、発生が平年よりやや多い。(+) 2) フェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より多い。(+) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年並、(土) 4) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 5 10 20 10 11 12 11 13 13 14 20 10 14 14 20 14 20 14 20 14 20 20 20 20 20 20 20 2					
2) フェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より多い。(+) 3) 県子察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年並。(土) 4) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 4) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 1) 巡回調査では、発病は見られず、発生が平年よりややかない。(ー) 2) 10月12日に強風、強雨を伴う台風19号が通過した。(土) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 1) 巡回調査では、発生が平年並。(土) 2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 1) 巡回調査では、発生が平年よりやや多い。(土) 1) 巡回調査では、発生が平年よりや・ション・(土) 2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 1) 巡回調査では、発生が平年よりの形衆量は、平年よりやや多い。(土) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 1) 巡回調査では、発生が平年よりや・多い。(土) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 1) 巡回調査では、発生が平年よりや・ション・(土) 3) 県子察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より多い。(土) 3) 県子察は(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年並。(土) 4) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) カオオタバコガ ー やや多 1) フェロモントラップへの誘殺数は、平年並の(土) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) カオオタバコガ ー シー・キャベシの巡回調査では、寄生は見られず、発生が平年よりやや少ない。(ー) 2) フェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より少ない。(ー) 3) 県子察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より少ない。(ー) 3) 県子察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや少ない。(ー) 3) 県子察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや少ない。(ー)					
多い。(+) 3) 県子察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年並(生) 4) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 20 回調査では、発病は見られず、発生が平年よりやや少ない。(ー) 20 10月12日に強風、強雨を伴う台風19号が通過した。(+) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 20 回調査では、発病は見られず、発生が平年並。(土) 20 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 20 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 20 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 20 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 20 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 20 見着では、発生が平年より多い。(土) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 1) 巡回調査では、発生が平年よりをや多い。(土) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 2) フェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より多い。(土) 3) 県子察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年並。(土) 4) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 2) 県子察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年並。(土) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 2) 県子察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年並。(土) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 2) 県子察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや少ない。(ー) 2) フェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より少ない。(ー) 3) 県子察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より少ない。(ー) 3) 県子察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より少ない。(ー) 3) 県子察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや少ない。(ー) 3) 県子察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやややかない。(ー) 3) 県子祭ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやややかない。(ー) 3) 県子祭ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやややかない。(ー) 3) 県子祭ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやややかない。(ー) 3) 県子祭ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやややかない。(ー) 3) 県子祭ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや少ない。(ー) 3) 県子祭ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりややかない。(ー) 3) 県子祭ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりややかない。(ー) 3) 県子祭ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりでやかない。(ー) 3) 県子祭は(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりややかない。(ー) 3) 県子祭は(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりには、100円には、10		コナガ	少	多	
は、平年並。(土) 4) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 4) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 1) 巡回調査では、発病は見られず、発生が平年よりやや少ない。(ー) 2) 10月12日に強風、強雨を伴う台風19号が通過した。(十) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(ー) 2) 県予察ほ(三浦)の黄色水盤への飛来量は、平年よりやや多い。(十) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年並。(土) 4) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年並。(土) 4) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 2) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年並。(土) 1) フェロモントラップへの誘殺数は、平年並。(土) 2) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや少ない。(ー) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや少ない。(ー) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より少ない。(ー) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや少ない。(ー) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや少ない。(ー) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや少ない。(ー) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや少ない。(ー) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや少ない。(ー) 3) 県子察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや少ない。(ー) 3) 県子察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや少ない。(ー) 3) 県子察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや少ない。(ー) 3) 県子察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや少ない。(ー) 3) 県子察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや少ない。(ー) 4) 4) 4) 4) 4) 4) 4)					
ダイコン 黒斑細菌病 少 やや多 1) 巡回調査では、発病は見られず、発生が平年よりやや少ない。(一) 2) 10月12日に強風、強雨を伴う台風19号が通過した。(+) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(+) 白さび病 少 1) 巡回調査では、発病は見られず、発生が平年並。(土) 2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 1) 巡回調査では、発生が平年並。(土) 2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(ー) 1) 巡回調査では、発生が平年より多い。(+) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 1) 巡回調査では、発生が平年より多い。(+) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 1) 巡回調査では、発生が平年よりのや多い。(+) 3) 泉一察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より多い。(+) 4) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 1) フェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より多い。(+) 2) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや少ない。(ー) オオタバコガ - 少 1) キャベツの巡回調査では、寄生は見られず、発生が平年よりかない。(ー) 2) フェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年よりかない。(ー) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年よりかない。(一) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年よりかない。(一)					
や少ない。(一) 2) 10月12日に強風、強雨を伴う台風19号が通過した。(十) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(十) 白さび病 少 並 1) 巡回調査では、発病は見られず、発生が平年並。 (土) 2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 1) 巡回調査では、発生が平年並。(土) 2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(ー) アプラムシ類 少 多 1) 巡回調査では、発生が平年より多い。(十) 2) 県予察ほ(三浦)の黄色水盤への飛来量は、平年よりやや多い。(十) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) コナガ 少 多 1) 巡回調査では、発生が平年よりやや多い。(十) 2) フェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より多い。(+) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年遊。(土) 1) フェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より多い。(+) 2) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年並。(土) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 1) フェロモントラップへの誘殺数は、平年近りでや少ない。(ー) 2) フェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より少ない。(ー) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より少ない。(ー) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや少ない。(ー) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや少ない。(ー)					4) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(±)
2) 10月12日に強風、強雨を伴う台風19号が通過した。 (+) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(+) 1) 巡回調査では、発病は見られず、発生が平年並。 (土) 2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(ー) 2) 県予察ほ(三浦)の黄色水盤への飛来量は、平年よりやや多い。(+) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 2) リーガ 4 3 3 3 3 3 3 3 3 3	ダイコン	黒斑細菌病	少	やや多	
1 1 1 2 2 2 3 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(+) 1 2 2 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 2 2 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 2 2 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3					
(土) 2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) ナモグリバエ 少 やや少 1) 巡回調査では、発生が平年並。(土) 2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(ー) アブラムシ類 少 多 1) 巡回調査では、発生が平年より多い。(ー) 2) 県予察ほ(三浦)の黄色水盤への飛来量は、平年よりやや多い。(+) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) コナガ 少 多 1) 巡回調査では、発生が平年よりやや多い。(+) 2) フェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より多い。(+) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年並。(土) 4) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) グンコンデータンブへの誘殺数は、三浦では平年より多い。(+) 2) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年並。(土) オオタバコガ ー 少 1) キャベツの巡回調査では、寄生は見られず、発生が平年よりやや少ない。(ー) 2) フェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より少ない。(ー) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より少ない。(ー) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや少ない。(ー)					` '
2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) ナモグリバエ 少 やや少 1) 巡回調査では、発生が平年並。(土) 2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(ー) アブラムシ類 少 多 1) 巡回調査では、発生が平年より多い。(+) 2) 県予察ほ(三浦)の黄色水盤への飛来量は、平年よりやや多い。(+) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 2) フェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より多い。(+) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年並。(土) 4) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 1) フェロモントラップへの誘殺数は、平年並。(土) 2) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年並。(土) 2) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年並。(土) 2) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年並。(土) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土) 1) キャベツの巡回調査では、寄生は見られず、発生が平年よりやや少ない。(ー) 2) フェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より少ない。(ー) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや少ない。(ー) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平よりやや少ない。(ー) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平よりやや少ない。(ー) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平よりやや少ない。(ー) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平よりやや少ない。(ー) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平よりやや少ない。(ー) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数ない、平よりやや少ない。(ー) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数ない、平よりやや少ない。(ー) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数ない、平よりやや少ない。(ー) 3) 県・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア		白さび病	少	並	
### (### ### ### #### ################					
2) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(一)		ナモグリバエ	少	やや小	
アブラムシ類 少 多 1) 巡回調査では、発生が平年より多い。(+) 2) 県予察ほ(三浦)の黄色水盤への飛来量は、平年よりやや多い。(+) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(±) コナガ 少 多 1) 巡回調査では、発生が平年よりやや多い。(+) 2) フェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より多い。(+) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より金い。(+) 3) 県予察は(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より多い。(+) 2) 県予察は(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年並の半少ない。(ー) オオタバコガ ー 少 カオタバコガ ー リニャイツの巡回調査では、寄生は見られず、発生が平年より少ない。(ー) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より少ない。(ー) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや少ない。(ー)		, , ,		, , , ,	
9やや多い。(+) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(±) コナガ 少 多 1) 巡回調査では、発生が平年よりやや多い。(+) 2) フェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より多い。(+) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年並。(±) 4) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(±) 2) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より多い。(+) 2) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年並。(±) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(±) オオタバコガ ー 少 1) キャベツの巡回調査では、寄生は見られず、発生が平年よりやや少ない。(ー) 2) フェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より少ない。(ー) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや少ない。(ー)		アブラムシ類	少	多	
カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カ					
2) フェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より多い。(+) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年並。(±) 4) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(±) 1) フェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より多い。(+) 2) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年並。(±) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(±) オオタバコガ - 少 1) キャベツの巡回調査では、寄生は見られず、発生が平年よりやや少ない。(ー) 2) フェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より少ない。(ー) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや少ない。(ー)					3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(±)
多い。(+) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年並。(±) 4) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(±) 四大スモンヨトウ		コナガ	少	多	1) 巡回調査では、発生が平年よりやや多い。(+)
は、平年並。(±)					
数には 1 1 1 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3					
露地野菜 全般 ハスモンヨトウ ー やや多 1) フェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より 多い。(+) 2) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年並。(±) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(±) オオタバコガ ー 少 1) キャベツの巡回調査では、寄生は見られず、発生が平年よりやや少ない。(ー) 2) フェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より少ない。(ー) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや少ない。(ー)					
2) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年並。(±) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(±) オオタバコガ - 少 1) キャベツの巡回調査では、寄生は見られず、発生が平年よりやや少ない。(ー) 2) フェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より少ない。(ー) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや少ない。(ー)	露地野菜 全般	ハスモンヨトウ	_	やや多	1) フェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より
は、平年並。(±) 3) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(±) オオタバコガ - 少 1) キャベツの巡回調査では、寄生は見られず、発生が平年よりやや少ない。(-) 2) フェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より少ない。(-) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや少ない。(-)					
オオタバコガ					
平年よりやや少ない。(-) 2) フェロモントラップへの誘殺数は、三浦では平年より少ない。(-) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや少ない。(-)					
少ない。(-) 3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや少ない。(-)		オオタバコガ	_	少	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
3) 県予察ほ(三浦)のフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや少ない。(-)					
は、平年よりやや少ない。(一)					
4) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(土)					
					4) 気温は平年並か高く、降水量は多い予報。(±)

※「発生量」・・・・・・・・・・・程度: 甚>多>中>少>無 平年比: 多>やや多>並>やや少>少 「予報の根拠」・・・・・・・(+): 多発要因 (-): 少発要因

(別表)

耐性菌の発生を防ぐため、1作での使用回数を制限することが望ましい農薬です。

★トマト★

薬剤耐性菌の発生を防ぐために(以下の農薬は、病害虫情報に掲載(予定)されているものです。

- QoI剤とSDHI剤は、薬剤耐性菌発生のリスクが高いので、1作での使用回数を制限することが望ましい農薬です。
- ▶ QoI剤(アミスター20、ファンタジスタ)
 - →単剤あるいはSDHI剤との混用の場合:1作1回
 - →SDHI剤以外の殺菌剤との混用もしくは混合剤(アミスターオプティ、ホライズン)の場合:1作2回
- ▶ SDHI剤(アフェット、カンタス、ネクスター、パレード20)
 - →単剤あるいはQoI剤との混用の場合:1作1回
 - →QoI剤以外の殺菌剤との混用の場合:1作2回
- DMI剤は、薬剤耐性菌発生のリスクがあるので、1作での使用回数を制限することが望ましい農薬です。
 - →単剤(トリフミン)の場合:1作2回
 - →DMI剤以外の殺菌剤との混用もしくは混合剤(テーク、パンチョ)の場合:1作3回

★キュウリ★

薬剤耐性菌の発生を防ぐために(以下の農薬は、病害虫情報に掲載(予定)されているものです。)

- ["] QoI剤とSDHI剤は、薬剤耐性菌発生のリスクが高いので、1作での使用回数を制限することが望ましい農薬です。
- ▶ QoI剤(アミスター20、ファンタジスタ)
 - →単剤あるいはSDHI剤との混用の場合:1作1回
 - →SDHI剤以外の殺菌剤との混用もしくは混合剤(アミスターオプティ、ファンベル、ホライズン)の 場合:1作2回
- ▶ SDHI剤(アフェット、カンタス、パレード20)
 - →単剤あるいはQoI剤との混用の場合:1作1回
 - →QoI剤以外の殺菌剤との混用の場合:1作2回
- CAA系薬剤は、薬剤耐性菌発生のリスクがあるので、1作での使用回数を制限することが望ましい農薬です。
 - →単剤(フェスティバル水和剤等)の場合:1作1回
 - →CAA系薬剤以外の殺菌剤との混用もしくは混合剤(プロポーズ、ベトファイター)の場合:1作2回

★イチゴ★

薬剤耐性菌の発生を防ぐために(以下の農薬は、病害虫情報に掲載(予定)されているものです。)

- QoI剤とSDHI剤は、薬剤耐性菌発生のリスクが高いので、1作での使用回数を制限することが望ましい農薬です。
- ▶ QoI剤(アミスター20、ストロビー)
 - →単剤あるいはSDHI剤との混用の場合:1作1回
 - →SDHI剤以外の殺菌剤との混用もしくは混合剤(アミスターオプティ、ホライズン)の場合:1作2回
- ▶ SDHI剤(アフェット、カンタス、パレード20)
 - →単剤あるいはQoI剤との混用の場合:1作1回
 - →QoI剤以外の殺菌剤との混用の場合:1作2回
- DMI剤は、薬剤耐性菌発生のリスクがあるので、1作での使用回数を制限することが望ましい農薬です。
 - →単剤(スコア、トリフミン、ラリー)の場合:1作1回
 - →DMI剤以外の殺菌剤との混用もしくは混合剤(パンチョ)の場合:1作2回
 - →単剤と混用もしくは混合剤を組み合わせる場合:1作に単剤1回+混用または混合剤1回